

決算特別委員会

児童・生徒を守れ！ 通学路の安全確保が急務

◆子どもたちが巻き込まれる事故や事件が増加しています。登下校の列に車輛が突っ込んだり、小学生を狙った事件が連日のように新聞やテレビで報道されていることは残念でなりません。このような不慮の事故・事件から子どもたちを守るため、あらゆる施策が行政にとって必要となってきますが、まず第一に子どもたちの生活道路ともいえる通学路の安全を確保することが重要ではないでしょうか。

久保委員 昨今の社会情勢から、平成27年度末に防犯カメラが設置されました。設置に関しては賛否両論ありましたが、防犯カメラは犯罪を抑止する一定の効果があると考えられます。この防犯カメラのデータを活用した実績はありますか？

教育調整課長 防犯カメラは平成27年度末から通学路の電柱上部などに設置されており、28年度では8件の情報を警察へ提供しました。このうち、重大な事件につながるものはありませんでした。



平成28年3月に開通した放射25号線・筑土八幡の五差路。開通によって交通渋滞が緩和されると考えられるが、通学路として使う子どもたちにとって、交差点の複雑さと青信号の時間の短い区間があることなどが危険視されている。写真右奥に津久戸小学校がある。正面は東京新宿メディカルセンター（旧厚生年金病院）。

決算特別委員会 高齢者を守れ！ 災害時の対策を念頭においた施策を

◆昨今の社会状況からみて、一人暮らしの高齢者の方々が孤独にならないよう見守ることは大切です。特に災害発生時は安否確認など、より重要になっていきます。これら課題に対し、区はどのような対策を考えているでしょうか？

久保委員 緊急通報システムの平成27年度の新規で設置された実績はどうなっていますか？ また今後の周知と普及啓発の考えはありますか？

高齢者支援課長 27年度の新規の設置台数は38台です。今後は東京都消防庁と連携を密にして取り組みます。

久保委員 本年3月に開通した放射25号線の筑土八幡交差点は津久戸小学校の通学路にあたります。この五差路の複雑な交差点は、信号が青の時間が短いなど、子どもたちにとって危険な区間もあります。子どもたちへの安全対策はどうなっていますか？

教育調整課長 学童擁護員の追加や、安全な区間を通学路に指定するなど対策を行っています。また、登下校以外に通行する際にも、安全の徹底を学校に指導をしています。

久保委員 通学路の周知は子どもたちだけでなく、保護者の方々や周辺地域の方々にも必要なのではないですか？

教育調整課長 子どもたちだけでなく、PTAなどに通学路を周知することは大切です。今後も学校を通じて周知していきたいと考えます。

ことばの解説
●放射25号線 新宿区を起点とし杉並区に至る都道433号線の支線。都道434号線と結ぶため、2006年度より整備事業が着手され、平成19年には文京区側（新隆慶橋から後楽園方面）が開通し、平成28年3月に筑土八幡交差点から新小川町にかけての新宿区側が開通した。この開通によって、飯田橋交差点付近の交通渋滞が緩和されることが期待できる。

久保委員 542台の緊急通報システムが区内に設置されていますが、災害発生時も通常と同様のサービスは受けられるのですか？

高齢者支援課長 事業者に対し緊急対応の要請はしていますが、現実的には非常に困難です。

久保委員 事業の性格上、事業者の連続性が必要と考えますが、現在の一年ごとの入札で問題はないのですか？

高齢者支援課長 契約については毎年度、入札で行っており、平成25年から28年までは同一の事業者になっています。個別の契約などには区は関与はしていませんが、機械の修理または事業者の管理などについては区が担当します。